

## 弱溶剤さび反応形2液変性エポキシ樹脂さび止め塗料

# ワイドさびストップ

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆

内装仕上げの制限なし

弱溶剤特殊変性さび転換形エポキシ樹脂がさびと反応し、強力に固定化するさび止め塗料です。3～4種ケレン面への塗装が可能になり作業効率が向上します。

### 特長

#### ● さびと反応し固定化

さびに含まれる「水分」「鉄イオン」と化学反応し、さびを安定な状態に転換し、さびの発生を抑制します。

#### ● 素地調整費軽減

3～4種程度のケレンで塗装可能なため素地調整費の低減、塗装工期の短縮が図れます。

#### ● 優れた塗膜性能

エポキシ樹脂とアミンの強靱な架橋により形成される塗膜はさび発生の要因となる水分と酸素の遮蔽性に優れ、さびの発生を抑制します。また耐薬品性にも優れているため、長期にわたり防錆力を発揮します。

JASS 18 M-109 変性エポキシ樹脂プライマー及び弱溶剤系変性エポキシ樹脂プライマー性能相当

#### ● 優れた作業性

はけ・ローラー作業性に優れているため、1回塗りで50～70μmの厚膜塗装が可能です。

#### ● 幅広い素地適応性

弱溶剤形のため塗替で既存塗膜の溶解やリフティング（チヂミ）が生じにくく、安心して使用できます。

#### ● 環境対応形

塗料用シンナー可溶タイプのため、臭気はマイルドで、鉛・クロム顔料などの有害な物質を含んでいません。

ホルムアルデヒド放散等級分類はF☆☆☆☆です。

### 標準塗装仕様

一般鉄部、ステンレス、アルミ、金属サイディングの塗替え

工程	塗料	調合 (重量比)	標準塗付量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数	塗装間隔 (23℃)	塗装方法	標準膜厚 (μm)	
素地調整	・浮きさびは、ディスクサンダー、ワイヤーブラシ、スクレーパーなどを用いて除去する。(3種ケレン) ・油脂類は溶剤がきで除去する。・素地は十分に乾燥させる。							
下塗り	ワイドさびストップ 塗料用シンナー	100 0～5	0.18～0.24	1～2	8時間以上 1ヵ月以内	刷毛塗り ローラー塗り エアレス塗り	50～70	
上塗り	各種上塗り塗料：ワイドエポレシリーズ、ワイドシリーズ、1液ワイドシリーズ、4Fシリーズ、ワイドウォールシリーズ ワイドルーフシリーズ、1液ワイドルーフセラシリーズ、ユニシリーズ※							

注1) ユニシリーズ (水性塗料) を上塗りする場合は、工程間を24時間～7日間としてください。

注2) 亜鉛めっき面に塗装する場合は標準塗付量0.14～0.24kg/m<sup>2</sup>/回、標準膜厚40～70μm/回となります。

注3) 公共建築改修工事標準仕様書などにおけるJASS 18 M-109 規格の下塗りとして使用する場合は、標準塗付量0.14kg/m<sup>2</sup>/回、標準膜厚40μm/回となります。

注4) エアレス塗りの場合、希釈率は0～10%です。

・溶接部、エッジ部またはケレンで凹凸を生じた面などには膜厚が薄くならないよう増し塗りをしてください。

・塗付量は標準的な数値です。素地の形状や状態・塗装方法・環境等によって増減することがあります。

### 塗膜性能

試験項目	結果	品質規格
容器の中の状態	合格	攪拌したとき堅い塊がなく一様になる。
半硬化乾燥性	合格	標準16時間以内、低温24時間以内
塗装作業性	合格	支障がない
ポットライフ	合格	5時間後、使用できる。
たるみ性	合格	たるみがない。
上塗り適合性	合格	支障がない。
耐おもり落下性	合格	割れ及び剥がれがない。
付着性	合格	分類1又は0
耐アルカリ性	合格	5%NaOH水溶液浸漬で異常がない。
耐熱性	合格	外観が正常である。試験後の付着試験で分類2、分類1又は分類0
サイクル腐食性	合格	さび、膨れ、割れ及び剥がれがない。
塗膜中の鉛の定量 (質量分率%)	配合せず	0.06以下
塗膜中のクロムの定量 (質量分率%)	配合せず	0.03以下
屋外暴露耐候性	合格	さび、膨れ、割れ及び剥がれがない。

試験方法はJIS K 5551構造物用さび止めペイントC種に準じる

### サイクル腐食性試験

基材：さび面鋼板 素地調整4種ケレン

試験条件：JIS K 5600-7-9 サイクルD

100サイクル



ワイドさびストップ



2液形さび止め塗料



1液形さび止め塗料

## 用途

建築物：鉄鋼構造物・空調機器・階段手摺・屋根・ダクト  
プラント：各種タンク（外面）・パイプ類  
その他：鉄塔、看板等  
（注）シャッター・歩行部位への塗装は避けてください。

## 適用素地

鉄骨・鋼板・カラータン・ガルバリウム鋼板  
亜鉛鉄板（溶融亜鉛めっき）・電気亜鉛めっき鋼板  
ステンレス鋼板・アルミニウム板

※ 塩化ビニル被覆鋼板には適用できません。

※※ どが漬け溶融亜鉛めっき鋼材は、1ヶ月以上暴露し、素材表面をディスクサンダー（研磨紙P120～240）にて入念に研磨し、白さびを除去してください。艶が残っている場合は塗装を避けてください。

## 可使時間／乾燥時間／塗装間隔

項目	5℃	10℃	23℃	30℃
可使時間	10時間	7時間	5時間	2.5時間
指 触	4時間	2時間	1.5時間	1時間
硬 化	24時間	20時間	12時間	8時間
塗装間隔	24時間～1ヵ月	16時間～1ヵ月	8時間～1ヵ月	6時間～1ヵ月

## 適用旧塗膜

- 合成樹脂調合ペイント・アクリルアルキド樹脂塗料・ポリウレタン樹脂塗料・塩化ゴム塗料
  - カラー鋼板（焼付け塗装）：ポリエステル樹脂塗装系、ふっ素樹脂塗装系\*
- ※事前に試験塗りをを行い、×カット・布ガムテープ剥離試験を行ってください。十分な付着性が確保されていない場合は、適用できません。

## 適用上塗り塗料

ワイドエポレーシ리즈・ワイドシリーズ  
1液ワイドシリーズ、4Fシリーズ  
ワイドウォールシリーズ、ワイドルーフシリーズ  
1液ワイドルーフセラシリーズ、ユニシリーズなど

## 荷姿

容量：16kgセット（主剤14.4kg 硬化剤1.6kg）  
4kgセット（主剤 3.6kg 硬化剤0.4kg）  
色相：白・グレー・黒・赤さび色



白（日塗工N-93近似）



黒（日塗工N-25近似）



グレー（日塗工N-67近似）



赤さび色（日塗工09-40L近似）

## 塗装上の注意事項

- 素地調整が不十分な場合や塗分量が少ない場合、防錆性及び付着性が低下しますので、素地調整を十分に行い、標準塗分量を必ず塗装してください。
- 降雨、降雪、結露の恐れがある場合は、塗装を避けてください。
- 気温5℃以下、湿度85%以上の場合は、塗装を避けてください。
- 施工面が高温（50℃以上）の場合は塗装を避けてください。
- 常時浸水する部位には、使用を避けてください。
- 施工面を十分に乾燥させてから塗装してください。
- 塗装時は、事前に既存塗膜を塗料用シンナーで拭き取り、溶解やリフティングが発生しないことを確認してください。塗料用シンナーで溶解やリフティングを生じるような既存塗膜に塗装すると、ふくれ等を発生することがあります。
- 主剤、硬化剤は正確に混合し、使用前に十分かくはんし、均一にしてから塗装してください。また、可使時間内にご使用ください。
- うすめすぎは、たるみ、膜厚不足による性能低下を生じますので注意してください。
- 他の塗料や所定以外のシンナーの混合は避けてください。
- 各工程の塗装間隔は、所定の時間を厳守してください。塗装間隔を過ぎた場合は、目粗しを行った後に塗装してください。
- エアレス塗装の場合は、周囲への飛散防止に十分注意し、養生などを行ってください。
- 風通しの悪い箇所では、換気を十分に行ってください。
- ゴムやプラスチック等の可塑性を含む部位に直接接触すると軟化や剥離を生じることがありますので、接触が予想される箇所には塗装を避けてください。
- 塗装器具の洗浄には、スズカシンナー #1000もしくはスズカシンナー #2000をご使用ください。

## 取扱い上の注意事項

- 引火性の液体ですので、火気のあるところでは使用しないでください。
- 吸入すると有機溶剤中毒を起こす恐れがありますから、換気をよくし、蒸気・スプレーミストを吸い込まないよう必ず保護具を着用してください。
- 取扱い作業場所には、局所換気装置を設けてください。
- 取扱い中は、皮膚に触れないようにし、下記の保護具を着用してください。  
（有機ガス用防毒マスク又は送気マスク・頭巾・保護めがね・長そでの作業衣・入り巻きタオル・保護手袋・前掛けなど）
- スプレーミストや臭い・蒸気などが、住居者・隣家・車輛などに、飛散しないように留意し、十分な養生を行ってください。また、屋外で使用する場合は、家屋の換気口、空気取り入れ口などから溶剤蒸気が室内に入らないように目張りなどをしてください。
- 臭いは、食料品、飲食物、衣類などに、うつる場合がありますので、作業場所から遠ざける又は、養生するなど十分注意してください。
- 容器から出すときは、こぼれないようにしてください。もしこぼれた場合には、布で拭き取って、水の入った容器に保管してください。
- 皮膚に付着した場合には、直ちに石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、医師の診断を受けてください。
- 蒸気・臭いなどを吸い込んで気分が悪くなったときには、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診断を受けてください。
- 目に入った場合には、直ちに多量の流水で洗い、できるだけ早く医師の診断を受けてください。
- 誤って飲み込んだ時には、直ちに医師の診断を受けてください。
- 取扱い後は、手洗い・うがい・鼻孔洗浄を十分に行ってください。
- 容器は密栓し、40℃以下で子供の手の届かない一定の場所を定めて保管してください。特に下記場所の保管は避けてください。  
〔雨水や直射日光の当たる場所・高温多湿の場所・潮風の当たる場所・凍結の恐れのある場所〕
- 火災時には炭酸ガス消火器、泡消火器または粉末消火器を用い初期消火をしてください。
- 捨てるときは、産業廃棄物として処分してください。
- 詳細な内容が必要なおときは、安全データシート（SDS）をご参照ください。
- カタログに記載されていない素地や塗装仕様で塗装される場合は、塗膜欠陥を起こすことがありますので、使用する前に最寄りの営業所にお問い合わせください。



営業本部 〒510-0101 三重県四日市市楠町小倉1058-4  
研究開発本部 〒510-0851 三重県四日市市塩浜町1

☎059-397-2187 FAX059-397-6191  
☎059-346-1116 FAX059-346-4585

札幌支店 ☎0133-60-6311 東京支店 ☎03-5661-2211 名古屋支店 ☎052-411-1255  
大阪支店 ☎072-862-1601 広島支店 ☎082-277-1116 四国支店 ☎0877-24-4621  
九州支店 ☎092-938-0071

取扱店

